



発行



(株)...

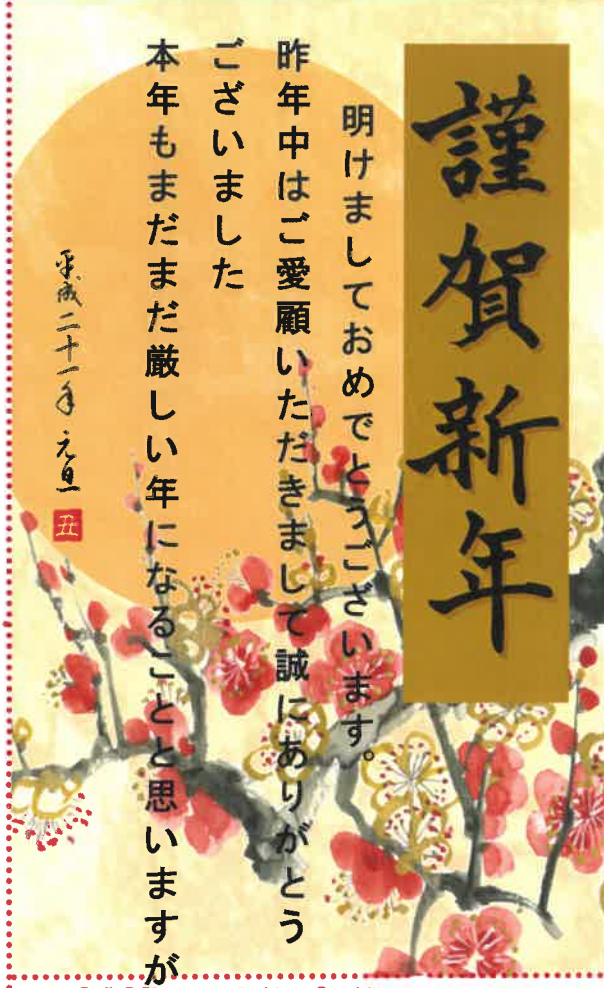
砕石部

# 謹賀新年

明けましておめでとございます。

昨年中はご愛顧いただきまして誠にありがとうございます  
ございました

本年もまだまだ厳しい年になることと思いますが



平成二十一年 元旦 五

## 変...?



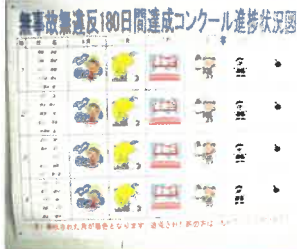
12月12日は漢字の日なのだそうだ。毎年この日に今年の漢字が発表される。

2008年の漢字は『変』であった。政治の『変』、経済の『変』、生活の『変』、気候の『変』、未来に向けた『変』そういう意味が込められているようだ。

ところで、清水寺森貫主揮毫の『変』という文字をじっと見ていると私にはなんとなく愛と見えてしまうのである。ちょっと変だろうか...。明るい未来に変わって行くためには愛が必要なのだと無理矢理こじつけている。ともあれ2008年は色々な事があった。2年分生きたような得をした気分であ

## 道なかば

8月から無事故無違反180日達成コンクールを実施している。途中、退職者や休職者がありメンバーが減った班もあったがなんとか150日は達成できた。ラスト30日であるがこれからが冬道の本番。道なかばと肝に名じ、気持ちを引き締め直して無事故無違反を達成したい。



事務所に目標が達成できているかを表にして張り出している



## ～吸水率～

スポンジほどではないが、石も水を吸う。石の吸水率は表乾状態（表面は乾いているが内部の空げきは水でみたまされている状態）の水分量で決まる。吸水率が高いと密度は低くなり、その関係には高い相関性がある。JIS規格では3%以下と規定されており、吸水率が高いと耐久性が劣るとというのが一般的である。

しからば、ビー玉のようなスベスベで極端に吸水率の低い材料でコンクリートを練ったらどうだろうなんとなく『なじみ』が悪い気がするのだが...

苔むした石垣はその『保水率』によって趣と風格が増している。強度や耐久性を必要としない場所では、保水率（吸水率）の高い材料を使うと相乗効果ではないか。自然との共生の観念からみると石はなじみやすい素材なのだ。身のまわりの石をもう一度見直してみると色々な表情を



## 編集後記

明けましておめでとうございます！

フクタニュースも5回目のお正月を迎えることができました。五回目のお正月号で、しかも55回目と何とも縁起がいい始まりだなあと感じました。今年は何んな年になるのか...不安と期待と複雑な心境の中、気持ちを改めて山手マエを精一杯頑張っていきたいと思ひます。

本年もフクタをご愛顧くださいますよう、またフクタニュースもご愛読頂けますよう宜しくお願い



## 石材部 世代交代へ

石材部の営業として25年間努めていただいた佐藤武志さんが12月をもって退社しました。昨年は石材部、運送ともにベテラン社員の退職があり、全社的に世代交代が行なわれつつあります。今までは築きあげていただいた信用を大切にしつつ、新たな気持ちで努力をしていかなければと決意しています。



武志さん長い間お疲れ様でした。

## みえる化

先日年末年始無災害運動のパトロールに参加させていただいた。その中で東北デルモンテさんの工場を見て、その5Sの徹底ぶりに驚かされた。食品を扱っているため清掃、清潔はもちろんのことであるが、整理整頓もすさまじい。作業指示ホワイトボード用のマーカーとマグネットの置場が色ごとに決められているのである。当然無くなっていればすぐに気づく。また大事に使うようにもなるだろう。職人さんは自分が使う道具は手入れと管理が出来て一人前といわれる。手入れの行き届いた使いこなされた道具は、すがすがしささえ感じられる。

そんな日常の中から安全が生まれるのだと改めて痛感した。Check!



管理者まで決まってる